

文部科学省所管 財団法人社会スポーツセンター
日本スノーケリング協会主催

平成22年度

スノーケリング指導者認定講習会

受講者募集のご案内

1. 事業の目的

この事業は、生涯スポーツとしてのスノーケリングに関する指導者の資質の向上と安全な活動の普及のために、主としてマリンスポーツ指導者・スイミングスクール指導員・学校・教育関係者など、公共施設や地域においてスノーケリングの実践的指導にあたる指導者ならびに、これから指導者になろうとする方を対象に、必要な知識と技術の習得を目的として実施するものです。

本指導者資格は、(財)日本体育協会による指導のもとに全国的な組織と統一的な内容によって運営されるものであり、現在までに全国に約500名以上の指導者認定が行なわれています。

この度、スノーケリング指導者養成講習会を開催する運びとなりました。

協会設立の趣旨と活動にご理解・ご協力をいただき、受講者の推薦をよろしくお願いいたします。

2. 主催：文部科学省所管法人 (財) 社会スポーツセンター 日本スノーケリング協会

3. 主管：愛知県スノーケリング協会

4. 期間

第1回 日程：平成22年6月26日(土)～6月27日(日)

5. 場所 第1日目 講義：プール(アルタバディマリン平針店) 時間 10:00～17:00
第2日目 実技：プール(アルタバディマリン平針店) 地下鉄「原駅」より徒歩6分
名古屋市天白区平針1-1417 TEL052-807-7135

** 第1日目、第2日目ともに講義、実技の開催場所は一緒となります。

6. 受講料21,000円 (昼食代含)

宿泊の斡旋は行ないませんので、参加者にて手配して下さい。

昼食は事務局にて手配を行いません。

7. 受講資格：満18歳以上の心身共に健康な男女。また日本スノーケリング協会が
指導員として相応しいと認めた者。

8. 募集定員：各20名(先着順にて定員になり次第締め切ります)

9. 講習カリキュラム

(講義) 「スノーケリング概論」、「器材管理と使用法」、「スノーケリング指導論」、
「海洋生物学」、「海洋危険生物対処法」、「水中生理学」、
「スポーツ医学」、「スノーケリングにおける応急処置」

(実技) 「CPR実習」、「スノーケリングの実際」、「スノーケリングの指導法」、
「スノーケリングの指導実践」

10. 検定試験及び審査

講習にもとづく検定試験(筆記及び実技)を、原則として講習時会場にて実施します。

検定試験終了後各科目担当講師により試験の採点が行なわれ、その結果を踏まえて

理事会によって任命された検定試験委員と事務局による審査を経て、合格認定されます。

※技能検定内容：以下の(1)(2)に全て合格すること。(未経験の方には指導いたします)

(1) マスク・スノーケル・フィン・ウエットスーツを着けて800mを泳ぎきることができる。

(タイム測定は行ないません)

(2) 潜水能力(スキンドайビング能力) (未経験の方には指導いたします)

(指導者としての素養の観点から身につける、スノーケリング指導の内容には含まれない。)

以下のいずれか1つ以上の課題について、安全、的確、スムーズに行なうことができる。

a. 水深3mにおけるマスククリア後の浮上

b. 水深4～5mにおけるウエイトベルト装着と浮上

c. マスク・スノーケル・フィン・ウエットスーツを着けての25m水平閉息潜水

11. 認定証の交付と登録の実施等
 上記検定試験合格者は、指導者登録申請を行なうことによって、日本スノーケリング協会認定スノーケリングインストラクターに認定されます。同時に協会より認定証が交付されます。(CPR、AEDの認定終了証も交付されます)
12. スノーケリングインストラクターの業務について
 スノーケリングの知識・技術について指導・教育を行ない、参加者(生徒)に対してスノーケラー(リーダー・メイト・ジュニア)各ランクの修了証(Cカード)を交付することができます。
13. 携行品
 ◎ 生活用品・講義用品
 1日目：健康保険証(写し可)、筆記用具、ノート
 2日目：洗面具、着替え、水着、タオル、常備薬等
 ◎ スノーケリング用品 2日目より
 スノーケリング4点セット：マスク、スノーケル、フィン、ウェットスーツ
 マリンブーツ
 マリングローブ(軍手代用可)
 ※スノーケリング用品に関しましては、すべて各自でご持参下さい。
 (レンタル希望される方は、事務局へ申し出ください。)
14. これまでの講師陣
 眞野 喜洋 (東京医科歯科大学教授・潜水医学)
 野村 武男 (筑波大学体育科学系教授・水中生理学)
 小田 敏彰 (日本体育大学教授・水泳運動学)
 吉田 章 (筑波大学体育科学系教授・水辺野外運動)
 河合 祥雄 (順天堂大学医学部助教授・スポーツ医学)
 片山 直樹 (東京厚生年金病院整形外科部長・スポーツ医学)
 松本 高明 (国士舘大学教授・救急蘇生法)
 井上 大輔 (川口市立医療センター麻酔科・救急蘇生法)
 堀井 昭 (日本体育大学教授・運動生理学)
 片山 健二 (東亜大学教授・スポーツ経営学)
 関 邦博 (神奈川大学教授・ダイビングの歴史と概要)
 小池 康之 (元東京海洋大学助教授・水産関係諸法規)
 山見 信夫 (東京医科歯科大学助教授・潜水医学)
 大石 示朗 (東京女子体育大学教授)
 須賀 次郎 (財団法人社会スポーツセンター顧問・潜水指導実習)
 佐藤 矩郎 (日本海中技術振興会会長・潜水指導実習)
 市原 隆久 (セントラルスポーツダイビング協会会長・水泳指導実習)
 遠矢 英憲 (財団法人社会スポーツセンターマリンスポーツ振興事業部・主任研究員)
15. 申込み方法
 ◎ 申込書の送付
 所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、愛知県スノーケリング協会まで郵送又はFAX、もしくは、E-mailにてお申し込み下さい。
 尚、E-mailにてお申し込みされる場合、書式は問いません。
 申込書を参考にし必要事項を全てご記入の上送信下さい。
 FAX送信先：052-654-0821 メール送信先：info@asa.gr.jp
 ◎ 受講料の納入
愛知銀行 港 支店(普) 2012310 店番214 口座名 愛知県スノーケリング協会
16. 締め切り
 開催日3日前までに申込手続き(申請書送付、費用の納入)を済ませて下さい。
17. その他
 検定合格者は、指導者登録申請料が10,500円(3年間有効)が必要です。
 各会場までの地図は後日申込の方へ案内申し上げます。
18. 問い合わせ
 ご不明な点は下記事務局までお問い合わせ下さい。
 愛知県スノーケリング協会事務局 〒455-0032 名古屋市港区入船2-2-7
 日本海中技術振興会内
 TEL：052-654-0487 FAX：052-654-0821 E-mail：asa.gr.jp